



本体重量: 14.7Kg
受枠重量: 8.9Kg

◇ 荷重計算 ◇

設計条件

- 荷重基準: 鋼道路橋等設計示方書による
- 荷重: T-2 (後輪一輪荷重: 800Kg)
- 載荷寸法: 160mm×200mm (等分布負載)
- 許容応力: $\sigma_b = 12.0 \text{ Kg/mm}^2$ (SPHC使用)
- 衝撃係数: $i = 0.4$
- スパン: $L = 200 \text{ mm}$

- W: 主部材が支える最大後輪一輪荷重(Kg)
- N: 荷重を受ける主部材本数
- (Z): 主部材断面係数 (mm^3)
- S: 溝幅方向載荷寸法 (mm)

荷重計算

「横断溝」 (溝幅 ≤ 載荷寸法 S の場合)

$$W = \frac{8\sigma_b Z}{L} \times \frac{S}{L} = \frac{8 \times 12 \times 200 \times Z}{200^2} = 0.480 \times Z$$

$$Z = N(Z) = 6 \times 0.644 \times 10^3 = 3.86 \times 10^3$$

$$\therefore W = 0.480 \times 3.86 \times 10^3 = 1.85 \times 10^3 \text{ (Kg)}$$

$$T = 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times W$$

$$= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times 1.85 \times 10^3$$

$$= 4.6 > 2$$

衝撃係数考慮の場合

$$T = 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times \frac{1}{1+i} \times W$$

$$= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times 0.714 \times 1.85 \times 10^3$$

$$= 3.3 > 2$$

以上より T-2 となる

<表面処理>

- 本体: 熔融亜鉛メッキ (セラミック充填)
- 受枠: 黒ペイント塗装

担当	製図	検図	尺度	作図	工事名
	岡本	戸田	1/10	年月日	
タイハイグレーチング 石田鉄工株式会社					図面番号 TYBHC25-2 T-2 横
					図面名称 TYBHC 300X 996X 25
					Lアングル